

国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。



【北信森林管理署木島平森林事務所】

森林官 永原 光

木島平森林事務所は、長野県の北部、下高井郡木島平村に所在し、主に木島平村、山ノ内町及び栄村の一町二村にまたがる約七、三〇〇畝の国有林を管理しています。

管内には、地方紙などで「日本一美しいブナの原生林」と紹介された「カヤノ平自然休養林」があり、樹齢二〇〇年〜三〇〇年と言われるブナの原木が入山者に驚きと感動を与えており、休養林内には、キャンプ場も併設されていることから、毎年、全国各地からの利用者で大変な賑わいをみせています。

また休養林内の北ドブ湿原で

は、夏になるとニッコウキスゲやタテヤマリンドウ等の色とりどりの花が咲き揃い入山者の心を和ませてくれます。



北ドブ湿原のニッコウキスゲ

この北ドブ湿原周辺と八剣山に至る歩道は、国有林の管理歩道でもあることから、非常勤職員らの手によって、安全で美しく、快適な歩道に整備されています。

さて、もう一つ紹介したいのが地元産「木島平米」です。

「緑のダム湖」と呼ばれるカヤノ平のブナの原生林を源流とする一級河川（樽川・馬曲川）の清らかな雪どけ水と昼夜の寒暖差・肥沃な土壌に育まれた「木島平米」は、コメのオリンピックと呼んでいる「第二〇回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」におい



初冬のブナの原生林と遊歩道

て、十年連続金賞を受賞し、当事務所周辺の食堂等でも味わうことができ、私自身の健康づくりにも役立っています。春になっても、当事務所管内は、まだまだ積雪が多く、現場に行くことができないため、現在は、事業実行に関する内務が中心となっています。今年、第六次施業実施計画の樹立に加え、生産・造林事業、境界やレク森の管理等、業務は多岐にわたりますが、降雪時期を考慮し、計画的な事業実行に努めていきたいと考えています。

冬場のご当地ならではの行事に、北信地区安全対策協議会主催の「スキー場安全対策パトロール」があり、今年のパトロールは、飯山地区八箇所のスキー場の安全管理対策について、関係機関が一堂に会し、現地パトロールを踏まえた様々な立場からの意見交換をすることができ、国有林への



四つのスキー場を擁する地域のシンボル「高社山」

「生の要望」を聞く良い機会となりました。

■未来の担い手へのメッセージ
この二月に森林官となり、奥地の造林地等を目の当たりにすると、当時の先輩たちの山に対する「思い」を痛感するとともに、「これからの森林づくり」を考えさせられます。

また、業務を通じ、改めて地域の方々と接する中で、国有林に対する様々な興味や関心があることに気づかされ、そうした皆さんの期待に応えられる山作りができるこの職場は、大変魅力があると思います。

代々受け繋がれた美しい山々を次世代に繋げるため、若手の皆さん、一緒に山を歩きませんか。



北信署スキー部合宿 (右から三人目が筆者)

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



株式会社吉本

おぶち 真一

(二〇〇七年入社)



■事業の概要

請負事業・森林環境保全整備事

業（伐採・造林一貫

作業ほか 軽井沢）

発注者：東信森林管理署

事業内容は、長倉山国有林他の一二六・六七％の間伐率二〇％の列状間伐による保育間伐と、一部は皆伐とコンテナ苗植栽の一貫作業です。

作業システムは、

- ・作業路開設による路網整備
- ・チェーンソー及びハーベスタによる伐倒
- ・グラップル・ウインチによる集材
- ・ハーベスタ造材
- ・フォワーダ搬出等



高性能林業機械作業システムにより四、六五〇立方メートルの間伐材を搬出しています。

■現場での役割・魅力

現場では主に作業道の開設をしています。作業路開設にあたっては地形・施業方法・作業強度の緩和等を考慮し、今現在だけでなく、将来にわたって使える作業道作りを心掛けています。

この作業は、後の本作業の効率にも大きく影響しますし、また山を掘ってしまう二度と同じ状態に戻せないのです、どこにでも道を開けて良い訳ではありません。

日々責任感と緊張感を感じていますが、そこにやりがいも同時に感じています。

林業の魅力は自然の中で仕事ができ、自分の仕事が後世に残るといふスケールの大きさと一見単純作業のように見えても、同じ木は一本もないので、常にその状況に対応する力が求められるという仕事の奥深さと私は思っています。

■森林・林業の世界に

入ったきっかけ

(株)吉本に

入社前は北海道の林業事業体に従事しており、きっかけは、大学時代の部活の友人が北海道で林業をしていると聞きそういう生活もいかなと思ひ友人と同じ会社に就職しました。



最初は本当にこの仕事で一生やっていけるのかと思っていましたが、仕事を続けていくうちにこれまで感じたことのない達成感とワクワク感のある仕事であると感じ、この仕事を続けたいと思えるようになりました。

■未来の担い手へのメッセージ

キツイ仕事と思われるかもしれませんが、いざやってみるといろいろなことが起きるので、飽きることなく楽しい仕事だと思います。

興味がある方はまず見学だけでもお勧めします。



田島建設株式会社

宮崎 克哉

(二〇一八年入社)

シリーズ

「林業土木業界からの便り」



受注して下さる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

■事業概要

請負事業・小黒川復旧治山工事
発注者・南信森林管理署

長野県伊那市長谷黒河内国有林において、崩壊地の復旧計画の一部として、谷止コンクリート工及び、かご枠土留工、丸太筋工、植生マット伏工といった山腹工の治山工事を行っています。



■現場での役割・魅力

本事業は数年計画の復旧事業の途中ということもあり、完成した

時に全体に調和が取れるよう設計に基づいた中で調整をするということが求められる現場でした。

その中で運営全般に携わる現場代理人として工事に携わりました。

治山の仕事は大変ですが、町の中の仕事に比べ、日々自然の変化を感じながら仕事ができます。また完成したとき、大変な達成感を得ることができるのが魅力であり、やりがいを感じるどころだと思えます。

■林業土木の仕事に

入ったきっかけ

六年程前に製造業に勤めていましたが、会社が諸事情により閉鎖することになり、知人の紹介にて土木業界に入ることになりました。

初めは経験のない仕事に就き戸惑っていましたが、諸先輩方の指導のおかげで土木の仕事の楽しみを知り、続けることができています。

■未来の担い手へのメッセージ

建設業界は厳しいというイメージを持っている方が多いかもしれませんが



ません。私自身もこの業種に就く前にはあまり良いイメージを正直持つておりませんでした。しかし、いざ自分が体験してみるとこの仕事が大変面白くやりがいのある仕事だと感じられました。

自分がこの仕事に務まるかどうかは経験しないと分からないことです。まずは気軽な気持ちで、この仕事に携わってみてはどうでしょうか。